

進研模試3年9月マークで扱われた 共通テストで問われる力・差がつく問題

進研模試3年9月マークは、共通テストを見据えた出題形式・難易度で、本番に向けた意識づけを行うとともに、現時点の学力を測定します。正解率の低かった問題や差がついた問題の、理解・思考のポイントを確認し、「直前演習」での問題演習をとおして、共通テストに向けた解答力を養っていきましょう。

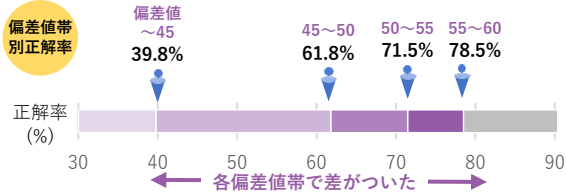
第2問問4：正解率63.2%

問4 トネルをふた、フィールドマーク中に、図1中の付帯で大規模な土木工事が行われ、特設した地盤改良と掘削の様子があることに気がついた。次の写真2はかつての様子であるが、現在は写真3のようにトンネルが取り壊されていく。そこで、図2・図3で当該地帯の歴史をたどり、地盤改良の様子をたどる。この地帯は、その間に土木事業が盛んな状態であったことが知られている。このことから考えられる地帯のふたのふたの目的と、その目的の達成のための説明として、図中の欄XとYに当てはまる正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [E]

Xに当てはまる文
 a 河川堤防の洪水リスクが低まる
 f 河川付帯での農作機会が減少

Yに当てはまる文
 g 堤防が高くなり、農作や馬車で移動することが困難となった
 h 水害が増し、渡し舟で河川を渡るのが困難となった

	①	②	③	④
X	e	e	f	f
Y	g	h	g	h



第4問問3：正解率70.3%

問3 ある地域において生産される農産物・林産物を考えるうえで、農産物・林産物が販売される市場（都市）での市場価格と生産にかかる費用、市場（都市）との距離の関係は重要な要因である。次の図3は、市場からの距離によってA～C区分された農産物・林産物と生産にかかる費用を示したもので、後の文章は図3に関する説明である。文中の空欄か～け～に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [E]

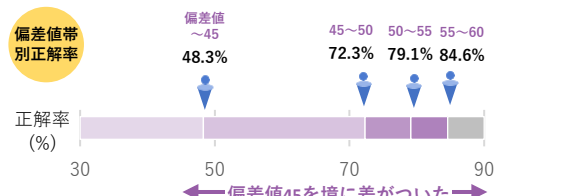
どのような農産物・林産物においても市場に近いほうが生産のための輸送コストを削減し、高い収益が期待される。加えて農産物の特性として、鮮度が市場価格に大きく影響するものは、市場（都市）に近いほど高い収益が期待される。

そのほか、市場に隣接している地域では、集約的に生産される農産物に対する費用が高くなる鮮度が落ちる（カ）が鮮度が落ちる。また、市場（都市）から遠い地域では、輸送コストはほかの農産物に比べて高くなるが、鮮度の市場価格への影響が小さい農産物が生産される。そこで効率的に生産でき、生産にかかる費用が安く、鮮度の維持への影響が少ない（キ）が行われる。

かつて地域は本邦の、産を生産する地域であった。これは、市場に近いため、木材や炭、炭といった生産物は需要が高く、輸送のコストは高い一方で、（ク）が多かったため、結果として高い市場価格で販売されたからである。しかし、現在は（ケ）のため、市場価格が低下し、地域ではそれらの生産が行われなくなっている。

【説明】
 ・すべての生産物は同一の市場で市場価格により販売される。
 ・各製品の区分は自然条件（気候、土壌）はすべて同一である。
 ・農産物・林産物の所有を管理にかかわる単位面積あたりの費用は、すべて同じである。
 ・各区分から市場への輸送費は、市場からの距離及び生産物の重量に正比例する。
 ・収益は市場（都市）でのその生産物の市場価格から生産にかかる費用と輸送費を引いたものである。
 ・図中の円は市場からの距離が同一である同心円であり、市場からの距離によって、A・B・Cの地域区分が示されていることを示している。

か/キ	ク	ケ
① 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	収穫技術の発達で供給量が増えた
② 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	必要とされた用途に特化して代わることができた
③ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	収穫技術の発達で供給量が増えた
④ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	必要とされた用途に特化して代わることができた
⑤ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	収穫技術の発達で供給量が増えた
⑥ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	必要とされた用途に特化して代わることができた
⑦ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	収穫技術の発達で供給量が増えた
⑧ 農産物の販売/鮮度の維持	市場（都市）での需要量	必要とされた用途に特化して代わることができた



天井川の形成に伴う生活の変化を考える問題

共通テストの地理総合分野では、自然環境と人々の生活とを結び付けて考察する問題の出題が予想されます。教科書で扱われている地理的な事象が生活に与える影響について検討し、各地域での地理的な課題に対する取り組みについて構想する力を身に着けることが重要です。

直前演習で類題に取り組みます

- 第2回第2問問2：地図から被災の可能性を考える問題
- 第3回第6問問5：立体交差する川周辺の生活について考える問題

ほか

農業立地に関して概念的な理解を求める問題

共通テストでは、本問のように、仮想モデルを用いるなどして、産業における立地パターンとその要因についての理解を求める出題がみられます。具体的な事例から傾向性を読み取ったり、また、理論から個別事例を想起したりするなど、具体・抽象を往復させる思考が求められます。

直前演習で類題に取り組みます

- 第1回第5問問3：統計数値が示す都市の特徴を読み取る問題
- 第4回第4問問2・3：都市の階層性について理論と具体の両面で考える問題

ほか



2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 地理総合、地理探究

販売価格 1,060円（税込）
 販売形態 問題冊子×解答冊子
 問題バラ×解答バラ
 冊子判型 B5判（問題・解答解説）

ダウンロード
 ● 問題・解答解説PDF
 ● 分野別過去問演習プリント

自動集計ツール対応
 ● Google Forms
 ● Microsoft Forms

